

令和5年(2023年)9月21日(木)開催

地域づくり推進研修【生涯学習推進者実践講座】

「高校生の望まないドロップアウトを防ぐために」

中信地区高等学校PTA指導者研修会にほいて開催し、高校生のドロップアウト予防研究に取り組んでいる講師の先生のお話を聴講し、子どもたちが幸せな生活を営めるよう、保護者または地域の大人として、子どもたちにどう関わっていけばよいか学びました。

(受講者数 78名)

〈研修内容〉

○講演

演題 「高校生の望まないドロップアウトを防ぐために」

講師 弘前大学 大学院教育学研究科 准教授 藤江 玲子 氏



○実践発表

蘇南高等学校PTA、松本深高等学校PTA、松本国際高等学校PTA

○情報交換



受講者アンケートから

【講演】

- 高校生のドロップアウトについて、調査結果をもとにわかりやすい話だった。(PTA)
- 「子どもたちは支援を必要としている」今、自分は支援を提供できる立場にある。その自覚をもとに日々取り組んでいきたいと思った。(教職員)
- 自己効力感の積み重ねで、自己肯定感も上がる。小さなことを認めていくことが必要だとわかった。(教職員)
- 自殺がある日、突然起こることはまずないというのは、その通りだと思った。(教職員)
- 藤江先生の資料を読みながら、ドロップアウトに関連する要因や、普段目にしない日本における現状把握の課題がパーセントで表されていて興味深かった。ドロップアウトの問題は子育て支援と教育を組み合わせた予防、就学前教育における予防、高等学校における予防、さまざまな予防があるんだなと講演を通して学ばせていただいた。(PTA)